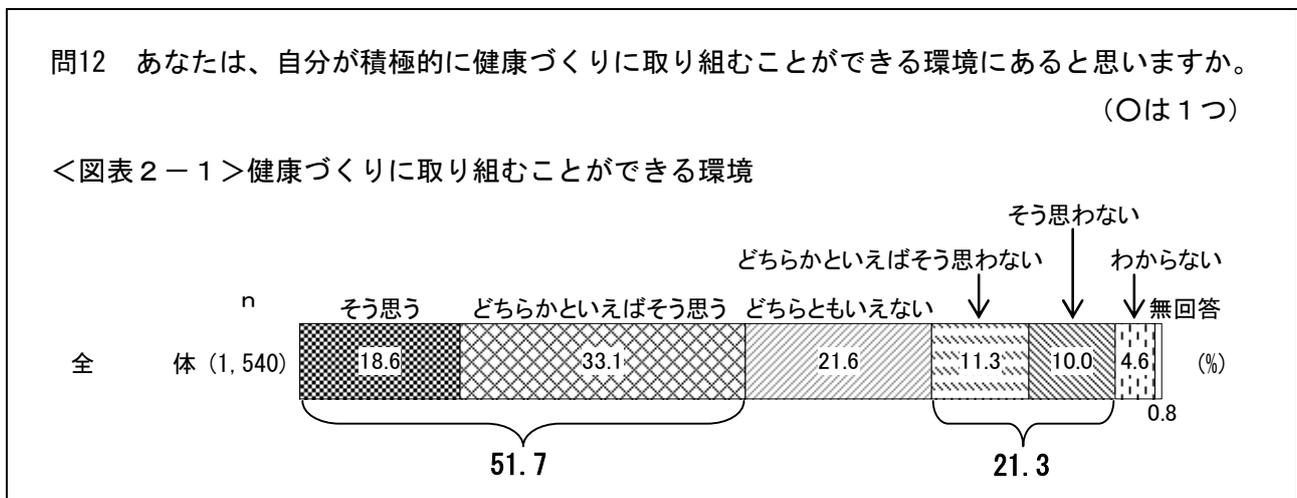


## 2 健康について

### (1) 健康づくりに取り組むことができる環境

◇『そう思う』が5割を超える



自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」(18.6%)と「どちらかといえばそう思う」(33.1%)を合わせた『そう思う』(51.7%)が5割を超えている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(11.3%)と「そう思わない」(10.0%)を合わせた『そう思わない』(21.3%)は2割を超えている。(図表2-1)

【参考】平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位: %)

n	そう思う	そう思わない	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成26年度調査 (1,605)	48.9	23.7	27.4
平成27年度調査 (1,580)	51.1	22.0	26.9
平成28年度調査 (1,550)	51.7	21.3	27.0

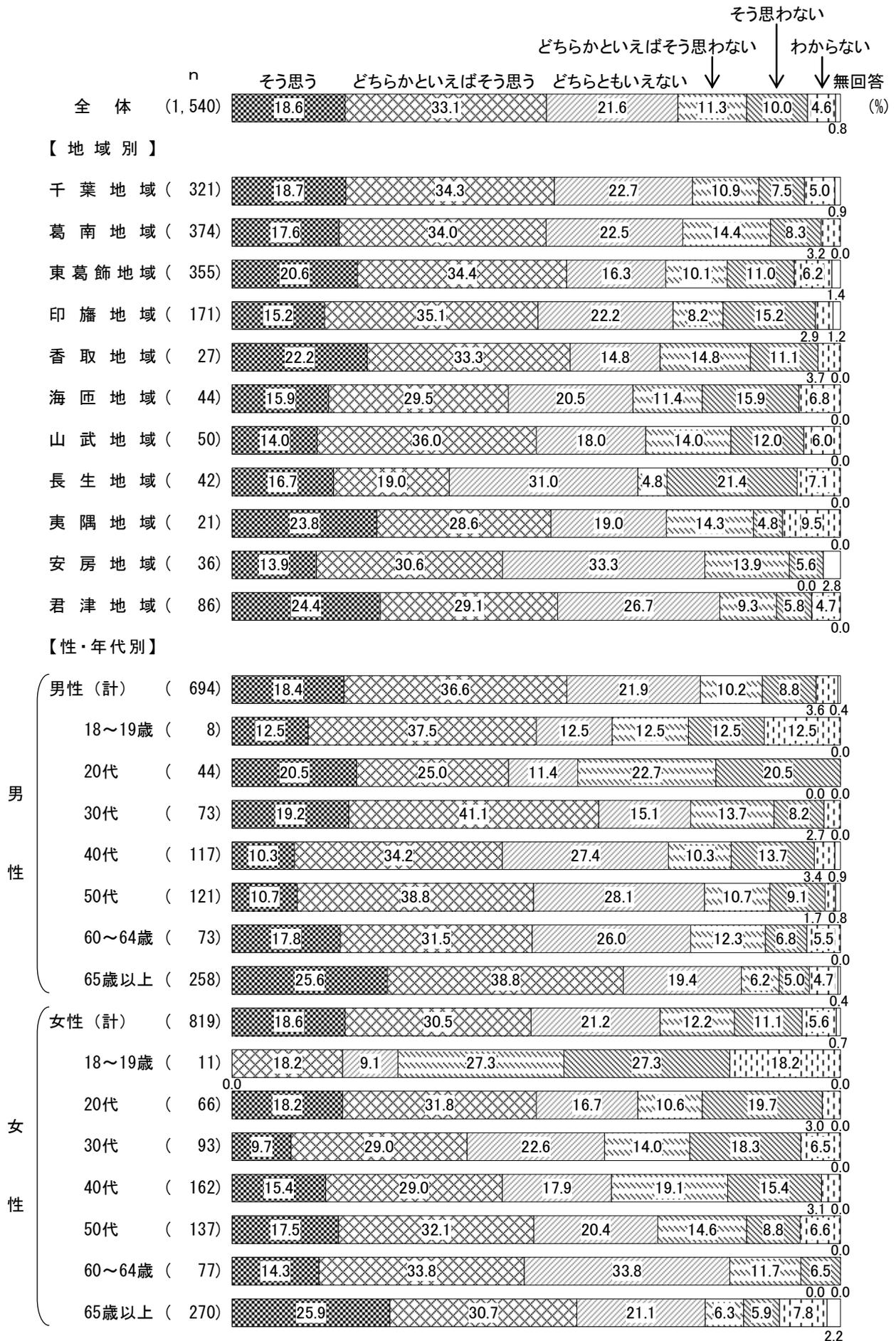
#### 【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“香取地域”(55.5%)、“東葛飾地域”(55.0%)、“君津地域”(53.5%)が5割台半ばで高くなっている。(図表2-2)

#### 【性・年代別】

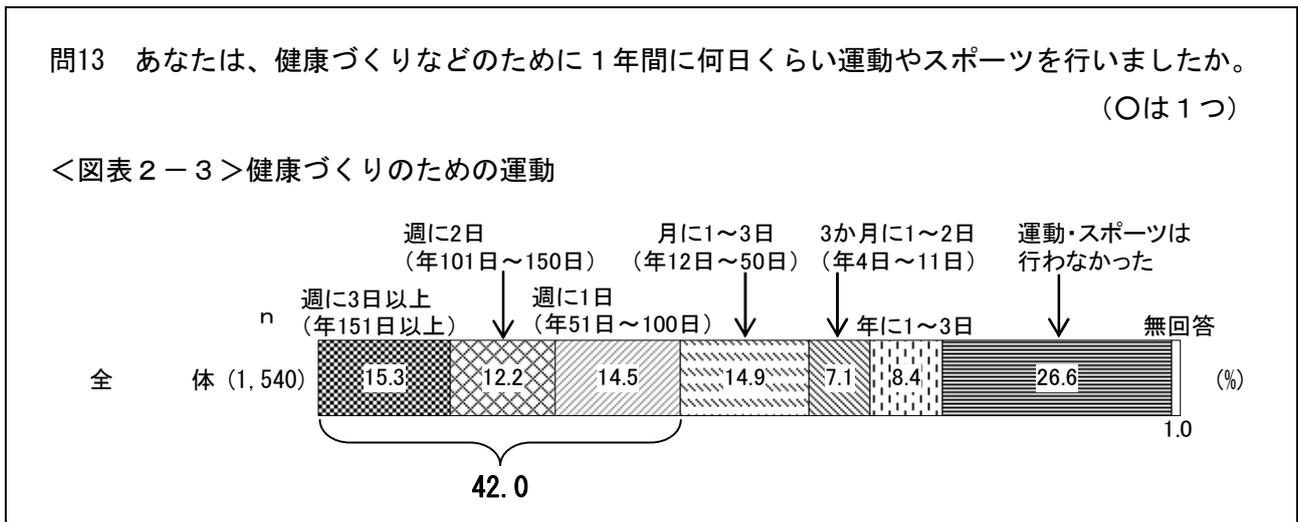
性・年代別にみると、『そう思う』は男性の65歳以上(64.4%)が6割台半ば、男性の30代(60.3%)が6割で高くなっている。(図表2-2)

<図表2-2>健康づくりに取り組むことができる環境／地域別、性・年代別



## (2) 健康づくりのための運動

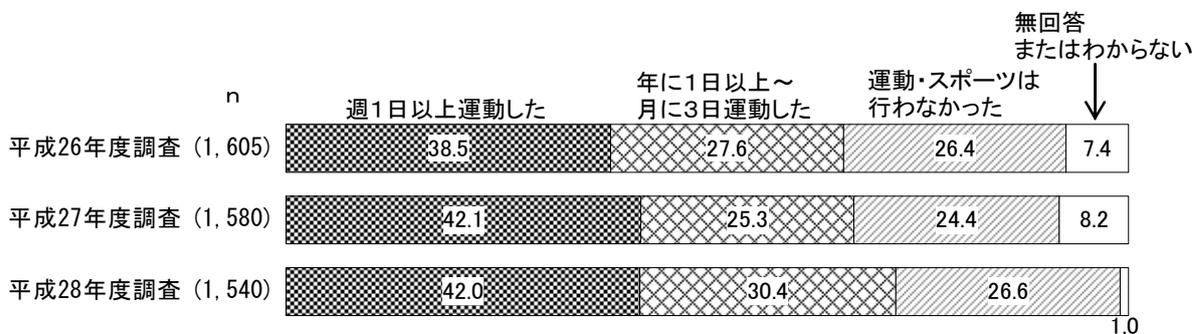
◇『週1日以上運動した』が4割を超える



健康づくりなどのために1年間に何日くらい運動やスポーツを行ったかを聞いたところ、「週に3日以上(年151日以上)」(15.3%)と「週に2日(年101日~150日)」(12.2%)、「週に1日(年51日~100日)」(14.5%)を合わせた『週1日以上運動した』(42.0%)が4割を超えている。一方、「運動・スポーツは行わなかった」(26.6%)は2割台半ばとなっている。

(図表2-3)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



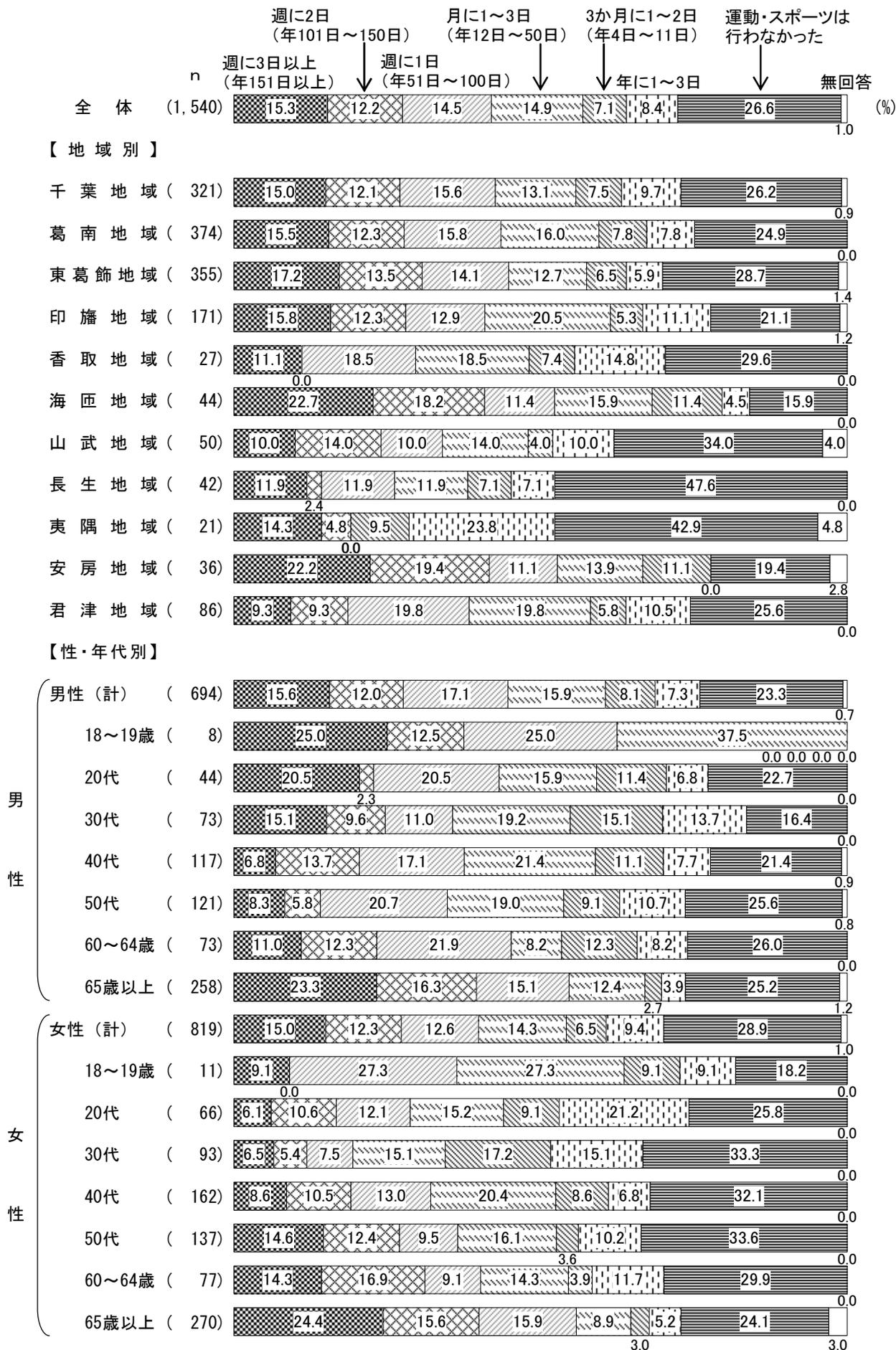
### 【地域別】

地域別にみると、『週1日以上運動した』は“安房地域”(52.7%)と“海匝地域”(52.3%)が5割を超えて高くなっている。(図表2-4)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『週1日以上運動した』は男性の65歳以上(54.7%)と女性の65歳以上(55.9%)が5割台半ばで高くなっている。(図表2-4)

<図表2-4>健康づくりのための運動/地域別、性・年代別

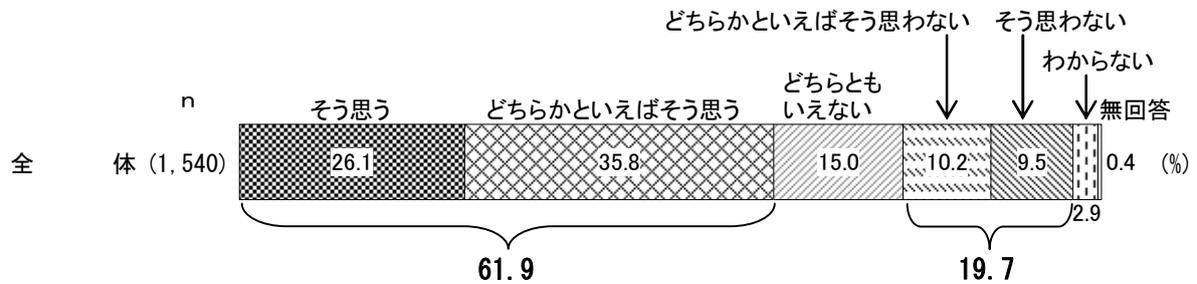


### (3) 安心して受診できる医療体制

◇『そう思う』が6割を超える

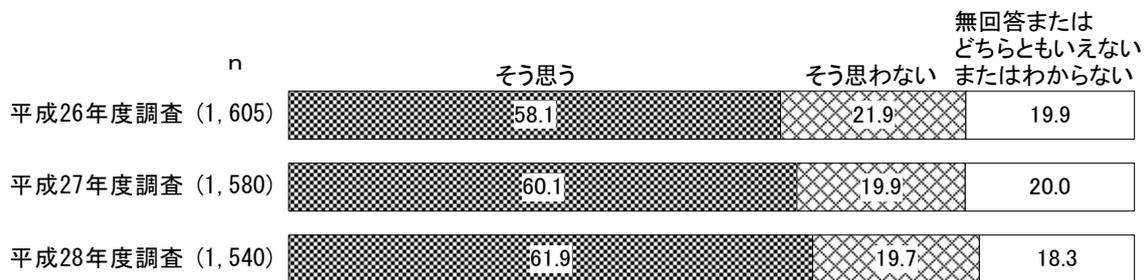
問14 あなたは、自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思いますか。  
(○は1つ)

<図表2-5>安心して受診できる医療体制



住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制が整っていると思うか聞いたところ、「そう思う」(26.1%)と「どちらかといえばそう思う」(35.8%)を合わせた『そう思う』(61.9%)が6割を超えて高くなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(10.2%)と「そう思わない」(9.5%)を合わせた『そう思わない』(19.7%)は約2割である。(図表2-5)

[参考] 平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位: %)



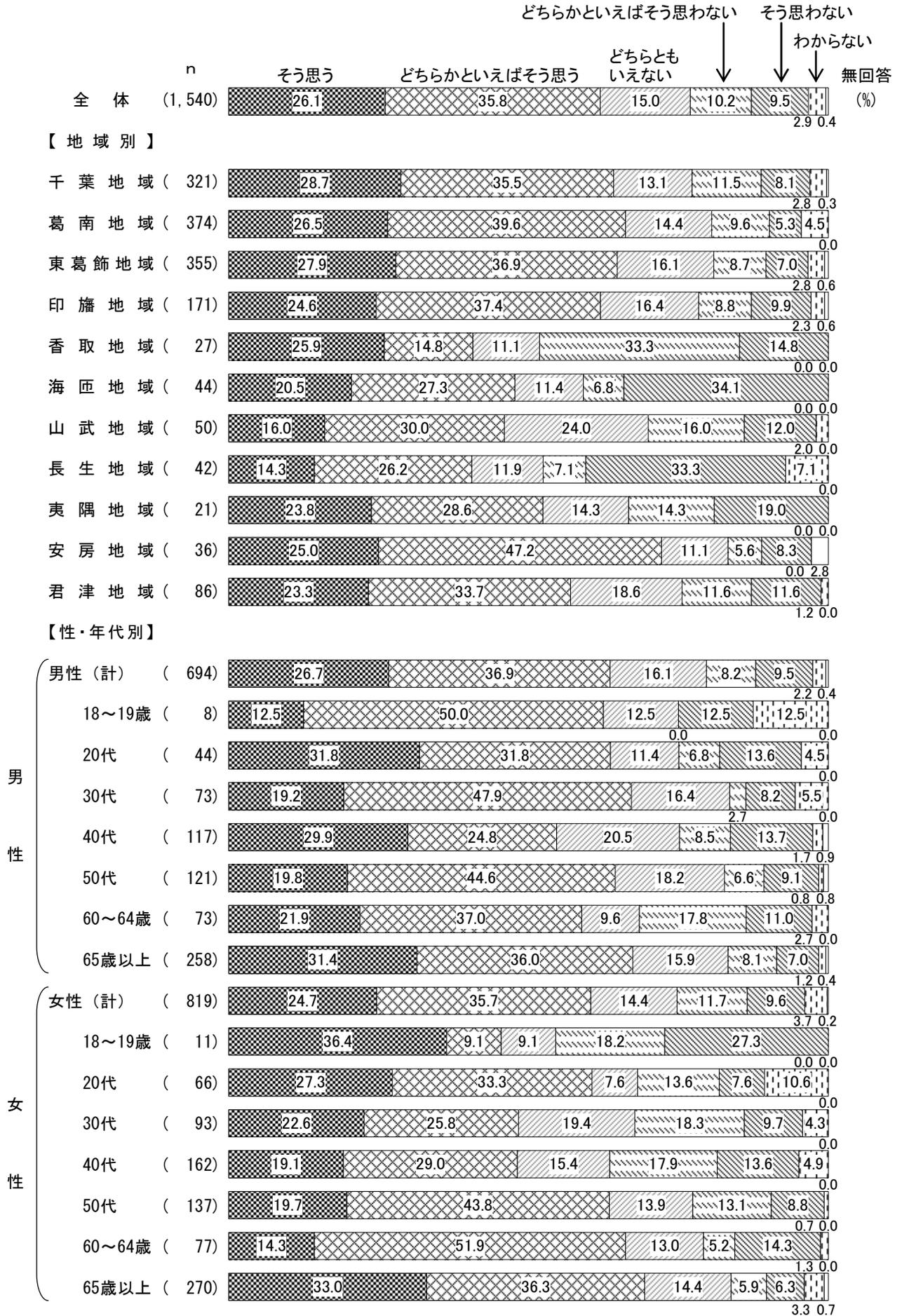
#### 【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“安房地域”(72.2%)が7割を超えて高くなっている。一方、『そう思わない』は“香取地域”(48.1%)が約5割、“海匝地域”(40.9%)と“長生地域”(40.4%)が4割で高くなっている。(図表2-6)

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は男性の30代(67.1%)、65歳以上(67.4%)と女性の65歳以上(69.3%)が約7割で高くなっている。一方、『そう思わない』は女性の40代(31.5%)が3割を超えて高くなっている。(図表2-6)

<図表2-6>安心して受診できる医療体制／地域別、性・年代別



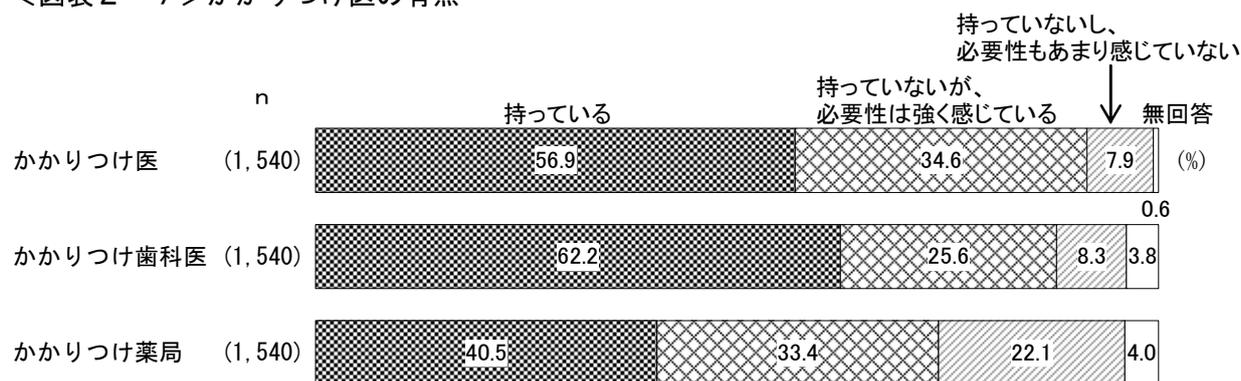
#### (4) かかりつけ医の有無

◇かかりつけ歯科医を持っているが6割を超え、かかりつけ医を持っているが5割台半ば

問15 あなたの過去の病歴や体質などを知っていて、気軽に相談に応じてくれるとともに、必要なときには他の専門機関等を紹介してくれる、身近な医師（歯科医・薬局）を、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」と呼んでいます。

あなたは、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」をお持ちですか。（○はそれぞれ1つずつ）

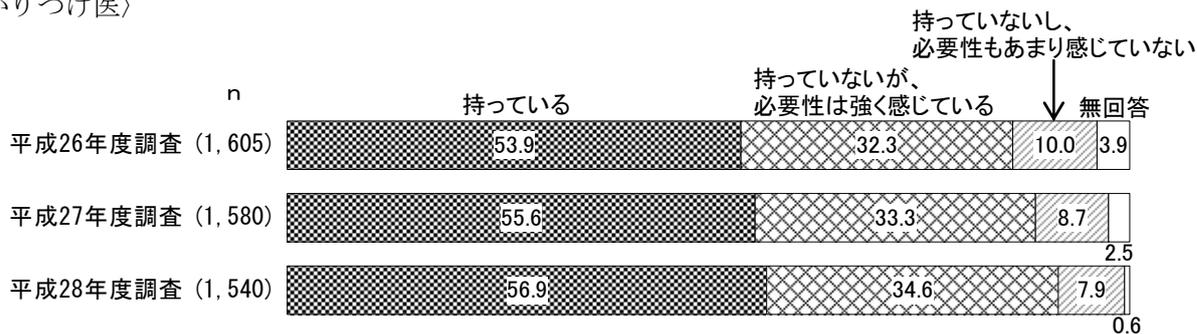
<図表2-7>かかりつけ医の有無



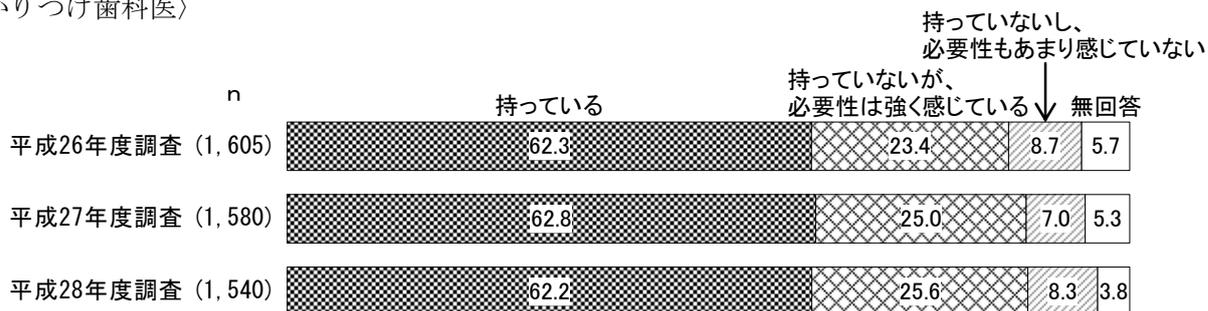
かかりつけの医師、歯科医師、薬局を持っているかどうかを聞いたところ、「持っている」は〈かかりつけ歯科医〉（62.2%）が6割を超え、〈かかりつけ医〉（56.9%）が5割台半ば、〈かかりつけ薬局〉（40.5%）が4割となっている。また、「持っていないが、必要性は強く感じている」は〈かかりつけ医〉（34.6%）が3割台半ばとなっている。「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は〈かかりつけ薬局〉（22.1%）が2割を超えている。（図表2-7）

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

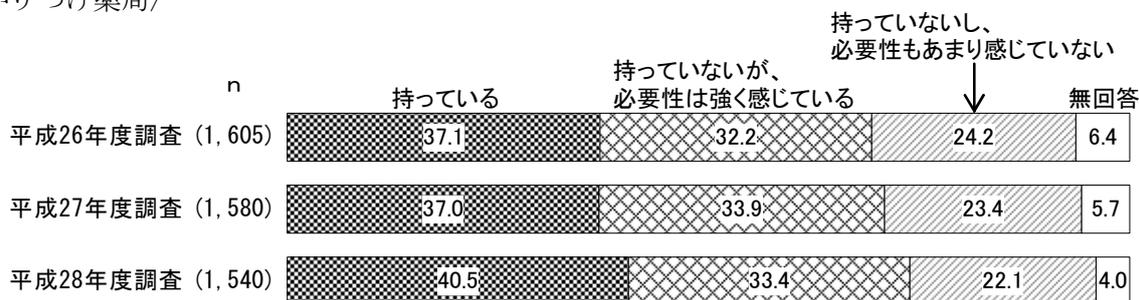
〈かかりつけ医〉



〈かかりつけ歯科医〉



〈かかりつけ薬局〉



### 【地域別】

地域別にみると、〈かかりつけ医〉を「持っている」は“夷隅地域”（81.0％）が8割を超え、“海  
 匝地域”（72.7％）が7割を超えて高くなっている。〈かかりつけ歯科医〉を「持っている」は“夷  
 隅地域”（71.4％）が7割を超えて高くなっている。〈かかりつけ薬局〉を「持っている」は“山武  
 地域”（52.0％）が5割を超えて高くなっている。（図表2－8）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、〈かかりつけ医〉を「持っている」は女性の65歳以上（78.5％）が約8割  
 で高くなっている。〈かかりつけ歯科医〉を「持っている」は女性の60～64歳（81.8％）が8割  
 を超えて高くなっている。〈かかりつけ薬局〉を「持っている」は女性の65歳以上（61.5％）が6割  
 を超えて高くなっている。（図表2－8）



〈かかりつけ薬局〉

